



水道をもう一度見直してみよう



みなさんは毎日、市水道や簡易水道、県営水道の水を何不自由なく使い、健康で快適な生活を送っています。

しかし、私たちの暮らしが便利になればなるほど水の需要は増え続けていくことでしょう。

水道局では、安心して使える水を市民のみなさんに安定供給するため、日夜努力しています。

飲み水ができるまで…

自然の水は、ダムに集められ、取水せきで取り入れたのち、浄水場へ送られます。

浄水場では、沈でん、ろ過などの工程を経て、汚れをなくしたのち、「塩素」で消毒して飲める水にします。

このようにして、きれいになった水は、配水池にためられ、配水管を通って、みなさんのご家庭にお届けしているのです。安心して飲めるきれいな水をつくるには、このように多くの労力とお金がかかっているのです。



水源池
塩素消毒をしてからポンプで高い配水池に送ります。

伏流水
川の下には地下水が入られた溝が川の水がポンプで最初に送られてくる所です。

雨水井
取水せきのり取り入れられた溝が川の水がポンプで最初に送られてくる所です。

フロキュレーター
薬品を入れて機械でかきまぜ水の中の汚れを小さなかたまりにします。

沈でん池
ゆつかりと水を流して小さなかたまりを底に沈めます。

ろ過池
砂の中を通りろ過されてきれいな水になります。

送水ポンプ
塩素消毒をしてからポンプで高い配水池に送ります。

配水池
配水池から家庭にパイプで水道水を配られます。

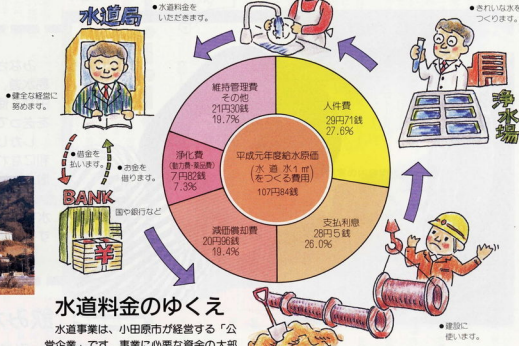
ら か る と



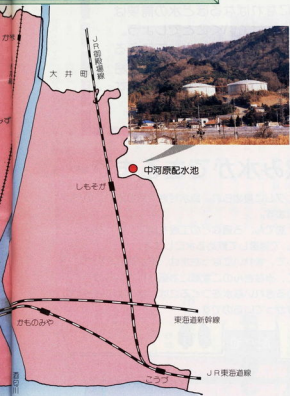
水は、人間にとって一日も欠かせない大切なものです。現在、私たちがかくあたまたまのこことして使っている水道は、長い歴史と多くの人たちの努力の積み重ねによって築かれてきました。

小田原市の水道は、昭和十一年に給水を開始して以来、五十五年が経過しようとしています。その間、都市の発展とともに

水道事業経営のしくみ



水道 給水区域

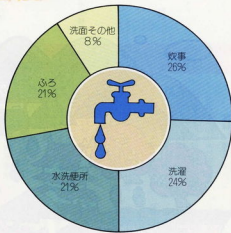


水道料金のゆくえ

水道事業は、小田原市が経営する「公営企業」です。事業に必要な資金の大部分は、税金でなく、みなさんにお支払いいただく水道料金で賄われています。これを独立採算制といい、電気・ガス会社と同じように経営されているのです。

家庭用水の使われ方

私たちが家庭で使っている水道の使いみちとしては、ふろや洗濯・炊事などが最も多く、その量は合わせて全体の3分の2程度になります。



水道局からのお願い

水道局の電話案内

- ★水道料金、使用水量、検針、いろいろな届出 (引越し、中止、再開始など) 営業課料金係 ☎33-1846
- ★水道の新設や改造 営業課給水装置係 ☎33-1644
- ★水道の上などの水漏れ 工務課維持係 ☎33-1667
- ★ただし、休日・夜間は 高田浄水場 ☎42-2554

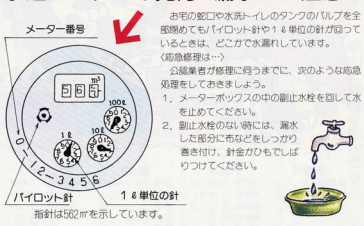
また、メーター近くには車を止めたり物を置かないでください。

●水道料金のお支払い
みなさんの料金口座から自動的に支払われる口座振替をご利用ください。料金の請求は2ヶ月に1度です。納期期限内に納めてください。

●水道の修理は水道公認業者へ
家庭で水道の配管が故障したり、水道管が破裂したときの修理は水道公認業者に依頼。蛇口・バッキンの取替えは自分でできます。公営の水道管修理は水道局が行いますので、漏水箇所を発見したらご連絡を。

なお、構地区は貸借水道ですので、詳しくは貸借業者水道第二営業所 (☎04630-71-8111) へお問い合わせを。

水道メーターの見方・漏水にご注意!!





水道あ

おいしいですか！小田原の水

最近、水のおいしさが話題になっています。これは、利用する私たちの要求が量から質へと変化してきている現れなのです。

私たちが毎日飲んでいる市営水道の水は、一口にいうと「くせのないまろやかな水」といえるでしょう。

残留塩素のためにカルキ臭を感じるでしょうが、これは減菌に重点をおいて水道の水の安全を確保しているためです。

冷蔵庫で冷やしたり、一度やかんで沸かして、冷やして飲むと、おいしさは格別です。



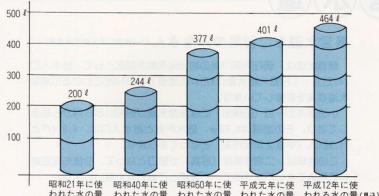
年々の増加する人口増加に対応し、様々な努力を重ねてきました。今後、多様化する二十一世紀の水需要に即応するために、水道施設を整備して行くとともに、施設を維持・管理に力を入れ、安定給水に努力していきます。みなさんのご協力をお願いします。

厚生省のおいしい水の条件	本市(平成元年度)	
蒸発残留物(ミネラル)	30-200mg/ℓ	123mg/ℓ
硬度	10-100mg/ℓ	61.5mg/ℓ
遊離炭酸(炭酸ガス)	3-30mg/ℓ	4.3mg/ℓ
過マンガン酸カリウム消費量	3mg/ℓ以下	1.6mg/ℓ
臭気	3以下	0
残留塩素	0.4mg/ℓ以下	0.4mg/ℓ
水温	最高20℃以下	16.8℃(年平均値)

1日に使う水の量の推移

平成元年の1人1日平均では401ℓで、パケツ(15ℓ)で約27杯分を使用したことになります。(小田原市水道の統計より)

この先、生活がより豊かになって、水を使うことが多くなることを考えると、水の使用量は、さらに増えていきます。



小田原市上水道



水道持集りについての
お問い合わせは
営業課 ☎(03)16441
へどうぞ

●小田原市上水道公認業者一覧表●		平成3年3月(公認額)			
株ニ見工務店	浜町2-7-14	22-5141	花形水道設備工業㈱	南町3-7-15	24-1242
株田中	城内2-13	23-1681	三幸設備工業㈱	栄町3-4-17	23-3100
杉山水道工業㈱	郡町2-6-58	34-2955	㈱内木水道工業	蓮正寺946	36-3412
富設工業㈱	酒匂5-11-8	48-1234	出雲浄水小田原営業所	中里203-2	42-4720
朝日配管工業	国府津3-10-1	47-2338	植木水道工業㈱	堀之内2110	36-0668
東海気熱㈱	寿町5-1-5	34-0201	光南管工業㈱	南町2-2-55	22-8916
斎藤管工組	東町1-2-32	34-4236	㈱西島設備工業	蓮正寺774-1	36-1761
株井戸清産工業	栄町3-16-11	22-9146	㈱相谷設備工業	酒匂2-34-19	47-6591
㈱西川組	東町1-13-35	34-2424	㈱中央工業	栢山2110	36-4435
㈱無沢工務店	久野2319	34-2511	株大日設備工業	南鴨宮2-33-10	48-4877
三栄管工業㈱	久野469	34-6816	株若尾管工	堀之内315	37-3366
株足納設備	延清30-1	37-2311	アソー熱工業㈱	中曾根31-12	36-7830
土屋水道工業㈱	郡町5-21-13	34-0864	タシロ総合設備㈱	飯田岡107	36-7219
株西山工務店	飯坂833	48-3848	㈱三建設備	早川3-17-18	22-4983
㈱中津工業	城山11-17-3	34-0379	株ナカネン	曾我原238	42-0458
株小田原衛生工業	寿町1-1-12	35-2038			

こんなときは…水

- ◎引越越しのときの届出は
引越越しの2、3日前に電話等で使用中止の連絡をしてください。引越越しをされた日までの使用水量を踏まえ、後日引越越し先へ請求書をお送りします。
- また、引越越しされ、新たに水道を使用される場合は、使用開始届(名義変更届)の届きをお送りください。
- ◎水道局への連絡は電話番号で
水道をご利用の各家庭には、水道の「需要者番号」が記されています。水道局への連絡やお問い合わせのときはこの番号をお知らせください。この番号は「使用水量のお知らせ」や「納入通知書」にも書いてあります。
- ◎検針にご協力を
水道メーターの近くに犬をつないだり、敷地内の敷居に踏み込まないでください。

簡易水道



石橋水源地

簡易水道等の沿革

組合の名称	統合又は公営化の年月(予定)
早川西中簡易水道組合	昭和42年9月 市水統合
舞戸	昭和52年4月 市水統合
山岸	昭和53年8月 市水統合
田島境	昭和56年2月 市水統合
田島根岸	昭和57年2月 市水統合
曾我別所	昭和58年2月 市水統合
上水之尾	昭和62年4月 市水統合
下曾我	平成元年9月 一部市水統合 平成4年3月 全部市水統合(予定)
石橋	平成3年4月 統合して公営化
米神	統合して公営化 (完成、平成8年 3月予定)
横府川	
江之浦	
久保田	
竹之内	
中河原	
曾我大沢専用水道組合	



市内には、地区のみなさんによって運営されている簡易水道などがあります。

これらの水道組合では、大きな川がないため、わき水を集め、消毒して配水池に蓄え家庭に配っていますが、水量の不足や日常の維持管理等で大変苦労しています。

このようなことから、小田原市では、みなさんがいつでも欲しいだけの水を安心して使えるように市水に統合したり、新たに水源をつくって公営化する事業を進めています。

片浦地区のみなさんへ

すでにご承知のとおり現在の簡易水道は **4月1日から市営** になります。そこで今までと異なる主なことについてお知らせとお願いをいたします。

水道料金について 小田原市上水道と同じ料金になります。

使用水量について 小田原市で委託した検計員が2か月(奇数月)に一度、各戸を訪問し使用水量を計量します。

水道に関するお問い合わせ

水道料金・使用水量・検計
水道の各種の届出(引越越し等)
水道の新設・増設
水道に異常があるとき(漏水・断水等)

簡易水道課
33-1658

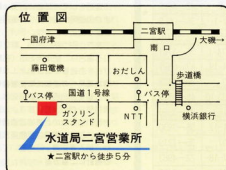
→ただし、休日・夜間は高田浄水場 42-2554

県営水道



神奈川県企業庁水道局二宮営業所

住所 中郡二宮町山西5-1
電話 (0463) 71-8111(代)



県営水道をご利用のみなさんへ(神奈川県企業庁水道局)

県営水道は、現在神奈川県内の約30%を給水地区として、給水人口240万人・1日最大給水量124万m³の規模で12市10町にわたる広域な水道事業を経営しています。

小田原市の一部(旧橋岡)には県営水道が昭和31年5月から給水しており、その面積は8.88km²、給水戸数と給水人口は、3,514戸と11,521人(平成2年12月末)となっております。

この地域は、二宮営業所(写真)が窓口となっており、今後も安定給水に努めてまいりますので、ご理解とご協力をお願いします。

